

II 令和7年度の学校経営

0 学校経営は誰のもの？



構成員一人一人が目的
やテーマをもちながら
も、一緒に船で宝探しに
挑むイメージ

1 教育目標と重点目標

【教育目標】 伸びゆく子ら — Wonder! 学び、つながり、未来をつくる吉井っ子 —

【重点目標】 [知] 問いをもち、探究し、自らの学びを未来につなげる子

[徳] 自分を大切にし、他者と協働し、地域に貢献する子

[体] 健やかな身体とたくましい心をもち、挑戦を楽しむ子

2 両津吉井小学校の「来し方行く末」

(1) 地域の未来への展望に寄与し、地域の心のふるさと・誇りの象徴である学校

→ 地域と共にある学校、子どもまん中、日本型ウェルビーイング

(2) 夢や志をもち、実現しようとする力を付ける学校（子どもも大人も）

→ 資質・能力の育成、探究的な学び、エージェンシー

(3) 変化を前向きに受け止め、挑戦する学校（子どもも大人も）

→ まずはやってみる、試行錯誤、振り返り、背伸び、安心・安全な場

3 目指す姿を実現するために、大切にしてきたこと・したいこと

(1) 「ふるさと学（佐渡学）」を土台にしたキャリア教育

- ふるさとへの愛着と誇り、発信とフィードバック
- 「子どもまん中」「豊かな学び」の実現をめざした地域との協働、地域の誇りづくり
- 生き方・あり方（なりたい自分）を意識した教育活動

(2) 自律的な行動を促す教育

- 子どもの「問い」や「願い」を大切にした教育活動
- 「自己選択」「自己決定」を大切にした教育活動と、学びの「オーナーシップ」
- やり抜く力、責任感、確かな学力、豊かな人間性の育み

(3) 教職員の学び、教師エージェンシーの発揮

- 自らの課題発見、マイプロジェクト、私の生き方・あり方
- 大人こそ「豊かな学び手」に：互いを尊重し、刺激し合う職員集団
- 「観」のアップデート：子ども観、学習観、授業観……、「そもそも」を問い直す

4 意識してほしいこと（行動指針）

- 「自律」 信じて待つ、見守る、「Less is more.」少なく教えて豊かに学ぶ
- 「対話」 自分も大切、相手も大切、「自由の相互承認」、対話による合意形成
- 「笑顔」 「自分の機嫌は自分でとる」は大人のたしなみ、みんなの笑顔

令和7年度の両津吉井小を「よしっ!」「いいね!」であふれる学校に